

2020年度
学校関係者評価報告書

(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年7月15日

学校法人東北文化学園大学

東北文化学園専門学校

「2020 年度自己点検・自己評価報告」に伴う学校関係者評価について

「2020 年度東北文化学園専門学校自己点検・自己評価報告」の結果に基づき、学校関係者評価委員の意見を取り纏めましたので、ここに「2020 年度学校関係者評価報告書」として公表いたします。

本報告書を纏めるにあたり、今年度もコロナウイルス感染防止の観点から、非対面にて委員会を開催し（委員間で電話やメール、文書等による内容確認、意見集約により）2020 年度の学校関係者評価報告書を作成いたしました。何より教職員の皆様には、コロナ禍で業務多忙の折、学校関係者評価委員間の仲介を積極的に担っていただき、例年同様この時期に公表出来ましたことに深く感謝申し上げます。

先般、「自己点検及び自己評価運営委員会」委員長の佐藤直由校長より、学校関係者委員による忌憚のない意見を求める旨、「2020 年度自己点検・自己評価報告書」の提出を受けました。この 1 年間、コロナ禍において、しっかりと学生と向き合いながらも、学校改善に一丸となって取り組んできた経緯に頭が下がる思いであり、これに応えるためにも、責任をもって学校関係者評価を行うことといたしました。

「2020 年度自己点検・自己評価報告書」は、冒頭から、自己評価項目ではない学校の教育理念の見直しを検討することから始まっています。また、1 項目について、昨年「評価 3」から「評価 2」（やや不適切）とする厳しい判断を行っていることについて、学校関係者評価委員より、当該項目について「やや不適切」ではなく「該当せず」が適正との指摘もありましたが、学校全体が外部意見を真摯に受け止め、日々改善に取り組まれている結果であるとの認識から、「基準 1」から「基準 10」の全ての自己評価報告について、取り組み状況や課題の改善方策も含め、適切であると評価いたしました。

学校関係者評価委員共通の意見として、このコロナウイルス感染が 1 日も早く収束し、一人でも多くの入学者を迎え、入学定員の充足に向けた取り組みにより、再び活気ある東北文化学園専門学校となることを今年度も引き続きお願いするものです。経営の安定こそが更なる教育の質の向上に結び付いていくものと確信しております。

文末に当たり、学生を中心軸に置いた、より良い学校づくり、更なる教育の質の向上に邁進されることを期待するとともに、私共ができることについて協力を惜しまないことをお約束させていただきます。

2021 年 7 月 15 日

東北文化学園専門学校
学校関係者評価委員会
委員長 中里 仁

1. 学校関係者評価委員会

2021年6月23日～7月10日

今年度は新型コロナウイルス感染症対策の観点から会議方式をやめ、「2020年度自己点検・自己評価報告書」の学内承認後の2021年6月23日から7月10日までの期間で、主に電話やメール、文書等による意見集約を行っています。 ※資料は各委員に事前配布

2. 学校関係者評価委員

【外部委員】2021年度

委員長	中里 仁	NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター理事 (社会福祉法人東北福祉会 せんだんの杜 総合施設長)
委員	栗原 憲昭	宮城県建築士事務所協会名誉会長 (盛総合設計 会長)
委員	曾根 利恵	宮城県診療情報管理研究会幹事 (仙台赤十字病院 診療情報管理課主事)
委員	郡山 知之	東北大学アイバンク理事 (株)日本眼科医療センター 代表取締役)
委員	須藤 智裕	東北文化学園専門学校同窓会 理事

オブザーバー：(自己点検及び自己評価運営委員会)

委員長	佐藤 直由	校長
副委員長	熊谷 猛	教頭
委員	二本柳 淳子	医療技術学科長
	渡辺 英隆	総合福祉学科長
	宇川 雅晴	医療ビジネス学科長
	増田 学身	建築デザイン学科長
	馬場 健二	専門学校事務部副部長

3. 評価対象期間

2020年度

2020年4月1日～2021年3月31日

4. 実施方法

- (1) 東北文化学園専門学校「自己点検および自己評価運営委員会」が作成した、「2020年度自己点検・自己評価報告書」について、2021年6月に学校関係者評価委員全員に事前配布し、各委員の意見の取りまとめをお願いいたしました。
- (2) 新型コロナウイルス感染禍のため委員会を開催せず、各自の意見確認を行い、必要に応じて自己点検・自己評価をまとめたオブザーバーに対して状況説明や補足を求めながら意見集約を行い、それぞれの基準について改善方策も含め適切であったか評価を行いました。
- (3) 基準1～10までの各委員の意見については、全て公開することとしています。

「2020 年度対象」学校関係者評価報告書一覧

1. 自己点検・自己評価の項目

2020 年度は以下の基準 1～基準 10 になります。

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

基準 2 学校運営

基準 3 教育活動

基準 4 学修成果

基準 5 学生支援

基準 6 教育環境

基準 7 学生の募集と受け入れ

基準 8 財 務

基準 9 法令等の遵守

基準 10 社会貢献・地域貢献

2. 評価項目に対する評価

評価は、1～4 の点数で記載しております。

4：適切 3：やや適切 2：やや不適切 1：不適切

基準 1 教育理念・目的・育成人材像		
1-1	理念・目的・育成人材像	
1-1-1	理念・目的・育成人材像は、定められているか	4
1-1-2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4
1-1-3	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4
1-1-4	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4

学校関係者評価一適切

- ・コロナ禍で様々な活動に制限がある中、学校づくりに教職員一丸となって当たられていることに心より敬意を表します。コロナ禍の逆境を利用し、今後もより良い学校づくりができることを願っています。
- ・個別の家庭環境（教育）と異なる成育歴に加え、貴校に入学するまでに身についた（授かった）「複数多岐にわたる教育内容も異なる」学生への教育目標の達成は、大変に厳しいことかと推察されます。非常勤講師として学生の皆さんと接している感想としては「概ね（100%はありえないので）」教育理念と教育目標は浸透しているものと実感しております。
- ・数十人の貴校卒業生が当社会福祉法人の運営する各福祉領域の実践の場で実務を担って頂いておりますが、その実態（働き方）からも上記を実証していると考えます。素晴らしい卒業生の皆さんです。

- ・「国際性豊かな社会人になること」についてワーキンググループを立ち上げられて検討されていることを高く評価します。
- ・専門学校の特徴から、職業実践が最大の目的になっていると思いますが、社会に出てからのコミュニケーション力の低さにより、社会適応が難しいケースもあると耳にします。人格形成を含むコミュニケーション能力のアップを期待します。
- ・新型コロナウイルスの影響から、現場実習が難しい状況にありますが、できる限り現場に近い学内実習ができるような環境整備を望みます。また、実習ができなかった学生に対する就職への支援を手厚くし、就職先とのミスマッチを防ぐことも必要だと思います。
- ・コロナ禍で実学が厳しい状況ではありますが、個々の学生への教育指導等に力添えを期待します。

基準 2 学校運営		
2-2	運営方針	
2-2-1	理念等に沿った運営方針を定めているか	4
2-3	事業計画	
2-3-1	理念等を達成するための事業計画を定めているか	4
2-4	運営組織	
2-4-1	設置法人は組織運営を適切に行っているか	4
2-4-2	学校運営のための組織を整備しているか	4
2-5	人事・給与制度	
2-5-1	人事・給与に関する制度を整備しているか	4
2-6	意思決定システム	
2-6-1	意思決定システムを整備しているか	4
2-7	情報システム	
2-7-1	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	4

学校関係者評価—適切

- ・貴校のホームページは、常に最新の情報がタイムリーに提供できていると感じます。
- ・貴校も含め全国の教育機関で学校経営が厳しい状況になってくるものと感じますが、教育目標達成に必要な教職員の質の担保に一層努めてほしいと思います。
- ・学校運営に限らず組織運営にとって「方針」の明確化とその実行、具現化は欠かせない事項だと考えます。今年度もその実現に向け、貴校教職員間のさらなる連携、共通認識の共有と強化を期待しております。

- ・特記事項に記された内容のさらなる具現化を望んでおります。
- ・構成メンバーの定期的な入れ替え、教職員の「人事考課制度」の構築は欠かせません。引き続きその確立に邁進されることを期待しております。
- ・PCを含むAT（アシスティブテクノロジー）関連機器の購入や付帯設備には支出が伴いますが、導入による業務省力と効率化（学生募集、業務省力化等）に期待しております。
- ・新型コロナウイルスの件ではご苦勞されていると思いますが、有事に強い学校運営を期待します（申請をされていると思いますが、学校でのコロナワクチンの職域接種など）。
- ・新型コロナウイルス対応だけでなく、自然災害時でもBCPアラートレベルに応じて教職員、学生が対応できるように共通認識していることが求められると思います。
- ・学生のPC環境の平均化への取り組みに期待します。
- ・働き方改革を踏まえながら、各科の人材確保に努め、より一層の教育への充実を期待します。

基準3 教育活動		
3-8	目標の設定	
3-8-1	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方法を定めているか	4
3-8-2	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4
3-9	教育方法・評価等	
3-9-1	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4
3-9-2	教育課程について外部の意見を反映しているか	4
3-9-3	キャリア教育を実施しているか	4
3-9-4	授業評価を実施しているか	4
3-10	成績評価・単位認定等	
3-10-1	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4
3-10-2	作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4
3-11	資格・免許の取得の指導体制	
3-11-1	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4
3-11-2	資格・免許取得の指導体制はあるか	4
3-12	教員・教員組織	
3-12-1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4
3-12-2	教員の資質向上への取り組みを行っているか	4
3-12-3	教員の組織体制を整備しているか	4

学校関係者評価一適切

- ・教職員研修会、授業評価アンケート、キャリア指導など積極的な教育活動を評価します。
- ・自己点検表に示された今後の改善方策、「業界のニーズ」に合致した教育をどれだけ行えるのかが「鍵」となります。様々な角度からニーズの収集に努められることを望みます。
- ・コロナ禍において「実習」等への負の影響は計り知れない状況ではありますが、コロナ後においては特記事項にも記された「関連業界や卒業生」の意見を積極的に取り入れる試みは効果的かつ重要であるものと考えます。
- ・国家資格・各種資格認定試験の取得が可能なさらなる体制強化を望みます。
- ・卒業生及び同窓会との連携は今後ますます重要事項と考えます。
- ・教育活動では公開授業を中止していますが、Web 開催などを検討してみたいでしょうか。
- ・多様化する学生への対応は大変かと思いますが、さらなる個人に合わせた細やかな対応を期待します。
- ・新型コロナウイルスによって、特に医療・福祉業界は日々状況が変化しており、変化に対応できる人材の育成が求められていると思います。学生が自ら考えて行動できる教育プログラムを期待します。
- ・コロナ感染対策に取り組みながら教育活動をされていると思います。資格も多様化しておりますので、業界ニーズと学生個人の目標に合わせた資格取得を目指して欲しいと思います。

基準 4 学修成果		
4-13	就職率	
4-13-1	就職率の向上が図られているか	4
4-14	資格・免許の取得率	
4-14-1	資格・免許取得率の向上が図られているか	4
4-15	卒業生の社会的評価	
4-15-1	卒業生の社会的評価を把握しているか	3

学校関係者評価一適切

- ・高い就職率と卒業生の活躍や評価からも学修成果が高いと判断いたします。この学習成果の評価が、貴校を希望する受験生増や、在校生のモチベーション向上に寄与することを期待します。
- ・卒業生が社会のニーズをフィードバックする仕組みがあるとよいと考えます。
- ・卒業生の評価把握まで担当教員が実施するには物理的、時間的にも難しく大変なものと考えます。もし、

実施するのであれば独自または既存の「卒業生評価票（仮称）」的な評価用紙を作成し就職先の実習担当者の協力を得、実施してみてはいかがでしょうか。（評価者に負担の少ないチェック式＋点数など）

- ・コロナ禍で成果を上げるのは難しいと考えますが、逆にこの時期だからこそ今まで出来なかった課題の抽出、改善への取り組みを一步一步進めてみてはどうでしょうか。
- ・基本的に「全ての福祉関係事業所は（１）基礎的な一定の即戦力を持ち（２）、加えて思いやりと他者に対する優しさと向上意欲のある新卒」を求めています。（２）は抽象的ではありますが（１）（２）に力を入れた学習内容の更なる工夫に力を入れることを望みます。
- ・専門学校の特性から資格取得が最大の目的だと思いますが、進路指導において適性を見極めての指導を期待します。
- ・資格取得は就職には必要条件です。資格取得の先（職場でのキャリアアップ）を見据えた教育に期待します。
- ・就職内定率 100%は素晴らしいと思います。コロナ禍で採用の見通しが立ちにくい企業も多く、苦勞されるとは思いますが、サポートの継続をお願いいたします。

基準 5 学生支援		
5-16	就職等進路	
5-16-1	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4
5-17	中途退学への対応	
5-17-1	退学率の低減が図られているか	4
5-18	学生相談	
5-18-1	学生相談に関する体制を整備しているか	4
5-18-2	留学生に対する相談体制を整備しているか	非該当
5-19	学生生活	
5-19-1	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4
5-19-2	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4
5-19-3	学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	4
5-19-4	課外活動に対する支援体制を整備しているか	4
5-20	保護者との連携	
5-20-1	保護者との連携体制を構築しているか	4
5-21	卒業生・社会人	
5-21-1	卒業生への支援体制を整備しているか	4
5-21-2	産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	3
5-21-3	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	4

学校関係者評価—適切

- ・ 学生の進路、個別相談等のフォロー体制がとられている点は高く評価いたします。
- ・ 報告書の通り、コロナ禍におけるサークル活動やボランティア活動に加え、就職活動への負の影響は多大な事柄と考えます。一方、それらの影響は他の教育機関においても同様な状況であり、「リモート対応」の充実強化が必要ではないかと考えます。
- ・ 諸制度を活用し、経済的な理由による退学者の減に努められていることは大いに評価される内容であります。山積する業務の中、教職員の皆様にとって大変な状況であることも承知しながら、今後とも学生優先（若者の夢、学びの権利を守る意味を含め）の支援にご努力されることを切に願います。
- ・ 教育機関のみならず、あらゆる組織で「メンタルヘルス」への対応や、その体制整備が必要な社会となっております。学内での対整備強化（人的・環境など）と合わせ、さらには「親」との連携も必要となり教職員の負担は増すばかりとご懸念いたしますが、ご対応をよろしくお願いいたします。
- ・ 専門学校は目的意識を持った学生が多いと思います。進路指導の中で、現場で活躍している卒業生との交流の機会を増やすことにより、学生支援がより深いものになると思います。
- ・ オンライン面接や見学会が一般的になりつつあります。学校として、練習や本番環境の支援は積極的に実施していただきたいと思います。
- ・ コロナ禍において、実際の見学や実習が十分ではない学生と就職先のミスマッチを防ぐためにも、現場をよく知っている教職員等のアドバイスが重要になるかと思えます。
- ・ コロナ禍において退学率が低くなっていることは評価できると思います。
- ・ 学生への感染症についての基本的な知識の共有は、特に医療や福祉分野の学生においては、講義、実技等の学習が必要だと考えます。
- ・ 学生相談室の利用状況はいかがでしょうか。また、コロナ感染等の学生についてもフォローなどできるのででしょうか。併せてコロナ禍で不安定な経済状況におかれる学生に対して引き続きしっかり支援・サポートをお願いいたします。

基準 6 教育環境			
6-22	施設・設備等		
6-22-1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか		4
6-23	学外実習、インターンシップ等		

6-23-1	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4
6-24	防災・安全管理	
6-24-1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4
6-24-2	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	4

学校関係者評価—適切

- ・コロナ禍でのオンライン授業の導入などがあり、校舎設備や教育機器の改善に努めてほしいと思います。
- ・「建物・設備など」の定期メンテナンスや修繕、入れ替えには多大な支出が伴います。報告書の記載にありますように優先順位に基づく中長期の計画策定と検討を重ねてください。
- ・課題として挙げられている学生の休憩スペース不足や地下の学生食堂改善の必要性は少なからず感じていました。可能な限り費用をあまりかけず創意工夫で対応を願うところです。
- ・東日本大震災の際、地域避難所として施設を開放した経験から、通常の防災安全管理に加え、大規模災害時における避難所機能としての諸準備、学生の安否確認など、体制の強化推進にご尽力されることを期待しております。
- ・コロナ禍により中止となった講習会やイベントを Web で実行してみてもと思います。
- ・設備の更新は学生募集においても重要だと思います。
- ・新型コロナウイルス対策においても、飲食・休憩スペースの確保は重要だと考えます。
- ・現代の社会ニーズに合わせ、ネット環境やオンライン授業への対応を評価します。今後も最新の環境で教育が行えるよう期待します。

基準 7 学生の募集と受け入れ		
7-25	学生募集活動	
7-25-1	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4
7-25-2	学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	4
7-26	入学選考	
7-26-1	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4
7-26-2	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4
7-27	学納金	
7-27-1	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4
7-27-2	入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取り扱いを行っているか	4

学校関係者評価—適切

- ・動画や SNS 等の活用を積極的に行っており、外部からの理解に非常に役立っていると思います。
- ・校舎内には教育成果の展示も行っており、学校見学時等で学校の魅力を伝える手段として、訴求力があると感じます。
- ・コロナ禍の負の影響が出ている現状ではありますが、「資料請求申込者」数の 20%増は大いに期待が持てます。改善策にも示されている「高校生に対する訴求力」の高いパンフレットの作成や、ユーチューブ動画などの工夫等教職員が一丸となり検討、作成、実行されることを望みます。
- ・「●●コンテスト」や「○○賞」など、高校生の興味、インセンティブを高める工夫は、今後ますます必要になると考えます。
- ・報告書の通り、高校教員や保護者の潜在ニーズの検証は急務と考えます。
- ・少子化の影響から学生を集めることが難しい状況で、専門学校の特徴を前面に出し募集を行うことが重要だと思います。
- ・コロナ下での学生募集は困難だと思いますが、高校生がアクセスしやすいホームページの充実や SNS を利用して貴校の魅力をアピールしてほしいと思います。そのための担当部署は必要だと思います。
- ・優秀な学生に対する新たな奨学金の創設にとっても期待しています。在学中の学生のモチベーション向上につながると思います。
- ・貴校が実施している高校生デザインコンテストや卒業制作展等は、私共建築分野の一翼を担う者にとってとても新鮮であり、逆に多くのことを学ばせて頂く機会になっています。今後、一層作品出展数が増えることを期待し、また、今年の 10 周年から 15 年、20 年へと継続されることを祈念しています。
- ・少子化が進んでいますので、専門学校の特徴を大いに活かし募集を行うことが重要だと思います。

基準 8 財務		
8-28	財務基盤	
8-28-1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	3
8-28-2	学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4
8-29	予算収支計画	
8-29-1	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4
8-29-2	予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4
8-30	監査	
8-30-1	私立学校法及び寄付行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4

8-31	財務情報の公開	
8-31-1	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	4

学校関係者評価—適切

- ・他校においても財務状況は厳しいとの話を聞きます。教職員一丸となって学生募集に力を入れていただきたいと思います。
- ・貴学が報告書の冒頭で挙げられた、「法人全体としての学生募集（生徒増加）戦略」が不可欠であると考えます。
- ・安定した財務の維持には固定経費の見直しなど不可欠要素ではありますが、何よりも「人件費率の増」が財務に大きく影響を与えます。大学、専門学校、施設を有するメリットを活かし、人事異動を含めた人件費率の抑制、キャッシュフローの検証に力を入れていただきたく考えます（現実的には法人全体としての共通意識・認識を全教職員が持てるかが鍵となります）。
- ・財務基盤は入学者の人数で決まると 생각합니다。より良い専門学校をPRするためには教職員の満足度も重要なポイントと考えます。教職員の不満や意見も収集してみたいはいかがでしょうか。
- ・財務基盤の安定においても入学者の確保は重要だと思います。応募人数の目標等を設定しているとは思いますが、より一層戦略的に入学者確保に取り組むことも必要だと思います。
- ・安定的な継続を期待します。

基準 9 法令等の遵守		
9-32	関係法令、設置基準等の遵守	
9-32-1	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4
9-33	個人情報保護	
9-33-1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4
9-34	学校評価	
9-34-1	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4
9-34-2	自己評価結果を公表しているか	4
9-34-3	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4
9-34-4	学校関係者評価を公表しているか	4
9-35	教育情報の公開	
9-35-1	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4

学校関係者評価—適切

- ・引き続き、適切な学校運営に留意していただきたいと思います。

- ・法令遵守が適切に行われているとの報告ですので、引き続きコンプライアンスに対する方針の明確にご尽力ください。
- ・ハラスメントの問題はすべての組織に共通する課題です。より「具体的なハラスメント事例」の研修等を繰り返し行うことが効果的であると考えます。
- ・法令は解釈の違いにより見解が分かれることがあります。関係省庁との連絡を密にお願いいたします。
- ・SNS等の利用において、個人情報の取り扱いの基本的事項を教職員・学生が認識することが必要だと考えます。また、問題が発生した際の手順も教職員で共有しておく必要があると思います。
- ・引き続き、細心の注意を払って欲しいと思います。

基準 10 社会貢献・地域貢献		
10-36	社会貢献・地域貢献	
10-36-1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
10-36-2	国際交流に取り組んでいるか	2
10-37	ボランティア活動	
10-37-1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4

学校関係者評価—適切

- ・校舎の地域への活用は、コロナ対策を施しながら、今後も継続しアピールしていくことを望みます。
- ・新たな生活様式の中での実施方法を模索してほしいと思います。
- ・社会貢献・地域貢献と「文字」にすることは簡単ですが、その実現については限界があると考えます。だからこそ、現在貴校で実施されている公園清掃やボランティア活動といった、地道な活動を継続的に明るく実施することが有効であると考えます。
- ・社会福祉法人でも「認知症カフェ」や「子ども食堂（親も可）」「地域住民向け福祉関連講座」を実施しています。地域住民の方のニーズや講座内容の掘り起こしのできる学内組織や仕組みづくりの強化が必要かと考えます。
- ・基準 7-6 とも関連しますが「現在実施されているボランティアポイント制度」に類する、新たな制度の創設の検討も必要かと考えます。
- ・学校経営の改善を目的とした急な留学生の受け入れは、教員にとっても学生にとってもマイナス面が多いと考えます。貴校のように慎重に検討することが大切だと思います。

- ・感謝の日の継続をお願いします。
- ・新型コロナウイルスの影響もあり、「地域とのつながり」を意識しにくいとは思いますが、ボランティア活動への取組む風土を絶やさないでほしいと思います。ぜひ献血等への参加もこれまで以上に積極的に実施していただければと思います。
- ・留学生受け入れが国際交流とは限りません。特に介護分野では、留学生を混在させた授業を行っている専門学校もあり、明らかに学生の質が低下していると指摘する施設もあります。優秀な人材を輩出する上で、留学生の受け入れについては、しっかりと時間をかけて検討してもいいのではないのでしょうか。
- ・留学生受け入れを検討することは時代の流れかもしれませんが、基準5の18-2にあるように帰国子女の養成者を徐々に増やして、そこで生じる課題等を検証しながら体制を整え、留学生受け入れへとステップアップしてもいいのではないのでしょうか。
- ・日本語能力が最大のポイントになりますが、コロナが落ち着いたらぜひ留学生の受け入れ対策も進めてほしいと思います。国際交流により学生への関心・意欲向上につながることを期待します。